

第1回第6次忠岡町総合計画審議会議事録要旨

日 時	令和2年6月5日（金）午後1時30分から午後4時まで
場 所	機能訓練室（忠岡町シビックセンター本館2階）
出席者	（第6次忠岡町総合計画審議会委員） 増田会長、高見副会長、上ノ山委員、小島ゆかり委員、花野委員、藤野委員、正木委員（途中退出）、松阪委員、萬野委員、毛綿谷委員、富田委員、和田委員、小島みゆき委員、二家本委員、三宅委員、勝元委員、森委員（途中退出）
欠席者	なし
事務局	和田町長、富本教育長、立花町長公室長、村田住民部長、東健康福祉部長、谷野産業まちづくり部長、柏原議会事務局長、二重教育部長、森下消防長、明松町長公室次長、小倉自治政策課長、正木自治政策課係長 （株）ぎょうせい 境氏、村上氏、永松氏、武藤氏
傍聴者	1名
配布資料	1. 委嘱状 2. 会議次第 3. 忠岡町総合計画審議会委員名簿 4. 忠岡町総合計画策定条例 5. 忠岡町総合計画審議会条例 6. 資料1 第6次忠岡町総合計画の全体像 7. 資料2 忠岡町の概況 8. 資料3 第4次→第5次各施策住民意識（重要度、満足度）の変化 9. 資料4 社会潮流の変化と求められる方向 10. 資料5 第5次忠岡町総合計画施策評価 11. 資料6 忠岡町将来人口の見通し 12. 資料7 第6次忠岡町総合計画の視点・方針と基本構想体系（案）

<p>会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 委嘱状交付</li> <li>3. 町長挨拶</li> <li>4. 委員紹介</li> <li>5. 会長、副会長選出</li> <li>6. 会長挨拶</li> <li>7. 諮問</li> <li>8. 審議会の公開、非公開について</li> <li>9. 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第6次忠岡町総合計画の全体像と忠岡町の概況について</li> <li>2. 意識調査結果と社会潮流の変化について</li> <li>3. 人口見通しについて</li> <li>4. 基本的視点・方針と基本構想体系（案）について</li> </ol> </li> <li>10. その他</li> <li>11. 閉会</li> </ol>
-------------	---

議事の経過	
発言者	発言内容
	<p><b>1. 開会</b></p>
事務局	<p><b>2. 委嘱状交付</b></p> <p>第1回忠岡町総合計画審議会の開催に先立ち、委員となられた皆様に委嘱状を交付させていただきます。本来は委員の皆様それぞれに委嘱状を交付すべきところですが、時間の関係もあり、代表といたしまして、公募委員の富田委員に和田町長から委嘱状を交付いたします。</p> <p>(町長が委嘱状を読み上げ、富田委員へ手渡し)</p>
事務局	<p>なお、各委員の皆様の委嘱状につきましては、予め机の上に配布させて頂いておりますので、よろしくお願い致します。</p>
事務局	<p><b>3. 町長挨拶</b></p> <p>お手元の次第3、審議会開催にあたりまして和田町長よりご挨拶を申し上げます。</p>
和田町長	<p>ご参加、ご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>ご承知のように、先ほどもご案内をさせていただきましたが、新型コロナウイルス感染防止対策で、このような雰囲気になっております。マスクの着用、また風通し等々考えて会場づくりをしたつもりであります。なので、ご理解ご協力をお願いいたしたいと思っております。</p> <p>本日は増田先生をはじめ、団体や公募の方、議員の皆様を含めて、皆様方におかれましては、何かとご多忙のところご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。また、平素は本町行政に、ご支援ご協力を賜りましたことに対しましても、重ねてお礼を申し上げたいと思っております。また、先ほど委員就任をいただきまして、重ねてお礼を申し上げる次第でございます。</p> <p>今回、委員皆様にご審議いただく総合計画は、町の最上位に位置する計画です。皆様におかれましては、日ごろから様々な立場でご活躍されている分野でのご経験をもとに、今後10年間の町が目指す将来像や、それを実現するための施策についてご審議をいただきたいと思っております。</p> <p>先ほども言いましたが、新型コロナウイルスの感染の拡大など予想もつかない出来事が起こっておりますが、今後どのような事態になっていくのか、非常に不透明であります。また、本格的な人口減少時代に突入、大阪大都市圏にある本町におきましても、さらなる人口減少が予想されるのではないかと、そういう危惧を持っているところでございます。</p>

	<p>このような状況ではございますが、本町にあっては、昨年町制施行 80 周年、忠岡村の誕生から 130 周年を迎えることができました。今や日本一小さな町となっておりますが、これからもいろいろな問題を乗り越え日本一小さな町忠岡の特色を生かして町づくりを進めたいと思っております。</p> <p>委員の皆様におかれましては、今後 10 年間の本町の道標となる総合計画の策定にご尽力をいただきますようお願いを申し上げます、私のあいさつに代えさせていただきますと思います。どうかよろしくご指導賜りたいと思います。</p>
事務局	<p><b>4. 委員紹介</b></p> <p>続きまして、各委員皆様のご紹介をさせていただきます。その後、町の出席者、事務局をあわせて紹介させていただきます。</p> <p>(事務局より委員の紹介)</p>
事務局	<p>続いて町の出席者を紹介させていただきます。</p> <p>(事務局より町の出席者、事務局を紹介)</p>
事務局	<p><b>5. 会長、副会長選出</b></p> <p>(配布資料確認)</p> <p>本日は委員 17 名中全員の方に出席いただいておりますので、忠岡町総合計画審議会条例第 6 条第 2 項における定足数を満たしておりますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>それでは次第 5 「審議会会長、副会長の選出」に移ります。審議会条例第 5 条第 2 項の規定により会長及び副会長につきましては、委員の互選により定めるということになっております。会長の選任選出につきまして、どなたかご意見ございましたらお願いいたします。</p> <p>(事務局一任の声)</p>
事務局	<p>ただいま、「事務局一任」のお声がありましたので、僭越ではございますが、事務局から提案をさせていただきたいと存じます。</p> <p>前回、第 5 次総合計画の策定に当たり、ご審議いただきましたときに、増田委員を会長に、高見委員を副会長にそれぞれ就任いただいております。前回に引き続きではありますが、会長には増田委員、副会長には高見委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
事務局	<p>「異議なし」のお声をいただきましたので、会長には大阪府立大学名誉教授、植物工場研究センター長でいらっしゃいます増田委員をお願いをしたいと思います。増田委員におかれましては現行の第 5 次 忠岡町総</p>

事務局	<p>合計画審議会 会長として策定にご尽力頂くとともに、泉佐野市、河内長野市及び田尻町など数々の総合計画審議会の会長を経験され、行政に卓越されたご経験がある先生でございます。</p> <p>副会長には本町自治会連合会会長で、地域のために日頃ご活躍いただいております高見委員にお願いをしたいと思います。増田様、高見様、お願いできますでしょうか。</p> <p>(承諾いただく)</p> <p>増田委員、高見委員よろしくお願ひ致します。</p> <p>それでは会長、副会長が決まりましたので、会長、副会長には前の席をご用意しておりますので、移動の方をお願いいたします。</p> <p>(増田会長、高見副会長、席移動)</p>
事務局	<p><b>6. 会長挨拶</b></p> <p>それでは次第6「会長挨拶」へ進めさせていただきます。</p> <p>今回、会長にご選出されました増田委員からご挨拶をいただきたいと思ひます。</p>
増田会長	<p>只今、皆様方のご推挙によりまして、会長という大任を仰せつかりました、府立大学の増田でございます。前期といいますか、10年前にも第5次の忠岡町の総合計画策定された折も会長ということで計画に携わらせていただきました。</p> <p>会長という大任をいただいたんですけれども、先ほど町長さんからもございましたように、ちょうど10年前は、人口減少型社会、少子高齢化が進んできた真っ只中といったところでもございましたし、今般はまさに少子高齢が顕在化しているといったところで、人口減少を受け止めながら展開をしないといけない、そういう今まで経験のない総合計画になろうかと思ひます。</p> <p>それに加えて、東日本大震災という大きな自然災害があったり、2年前の大型台風の襲来であったり、非常に災害リスクが高まっている中で、南海トラフの地震も想定される。こういう中で危機管理に対してどう考えていけばいいかと。</p> <p>それに輪をかけて今回のコロナ感染症。これはひょっとしたらグローバル社会の中で今後ともこういうことが頻発するかもしれない、という中でソーシャルディスタンスを持った新しい日常というのを具体的にどう展開していったらいいのか。我々の大学も、もう現役は退きましたけれども、前期はすべて遠隔講義ということで、学生がキャンパスに来ないと。我々もこの2か月間、今日2か月ぶりです家を出たのは。ずっと自宅でテレワ</p>

事務局	<p>ークをするという状態の中で大きく変わろうとしている。そういうことを皆さんとともに議論をしていかないといけないというようなことでございます。</p> <p>副会長の高見さんにもご協力をいただきながら、意見交換をして、10年間の道標を皆様とともに議論をできればと思いますので、ご協力のほどよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>簡単でございますけれども、挨拶に代えさせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>それではここから議事に移らせていただきます。以後の議事につきましては、審議会条例 第6条第1項の規定により、増田会長を議長として進めさせていただきます。増田会長、よろしくお願ひいたします。</p>
増田会長	<p><b>7. 諮問</b></p> <p>それでは、お手元の次第にもとづいて進めてまいりたいと思ひます。まず次第7、総合計画に関する「諮問」となっておりますので、事務局より、まずは説明をお願ひしたいと思います。</p>
事務局	<p>今後の忠岡町の目指すべき将来像や施策の基本的な方向性を定める基本構想の策定にあたりまして、忠岡町総合計画策定条例第3条及び総合計画審議会条例第2条の規定に基づきまして、本審議会に調査、審議をお願ひするものです。和田町長より当審議会に、忠岡町総合計画に関する諮問を行いたいと思ひます。和田町長よろしくお願ひします。</p> <p>(町長が諮問書を読み上げ、増田会長へ手渡し)</p>
増田会長	<p><b>8. 審議会の公開、非公開について</b></p> <p>それでは続きまして次第8「審議会の公開、非公開について」についてお諮りしたいと思います。</p> <p>「忠岡町審議会等の会議の公開に関する指針」におきまして審議会は原則公開となっておりますので、公開で進めさせていただきたいと思ひますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
増田会長	<p>異議なしということでございますので、審議会は公開とさせていただきます。傍聴の方おられますか。</p> <p>(傍聴者1名入室)</p> <p><b>9. 議題</b></p> <p><b>9-1. 第6次忠岡町総合計画の全体像と忠岡町の概況について</b></p>

増田会長	<p>次第の9番目ですけれども、本日議題が1番から4番までございます。</p> <p>まず最初に9-1「第6次忠岡町総合計画の全体像と忠岡町の概況について」、事務局より説明をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>(事務局 「第6次忠岡町総合計画の全体像と忠岡町の概況について」の説明(資料1、資料2))</p>
増田会長	<p>総合計画の位置づけと概況という形でご説明いただきましたけれども、何かご質問はございますでしょうか。</p> <p>定住意向の中で、20歳代が非常に低いというのは、何かお考えはありますか。</p>
事務局	<p>20代というのは、これから就職をして、お金が貯まってきて、次に便利なところ、会社に近いところであったりとか、そういう意識を持った方が多いと感じますので、それは仕方ない部分であると捉えています。</p>
増田会長	<p>他はいかがでしょうか。</p> <p>町内での就業場所は非常に充実しているという、そんな認識でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>昼夜間人口比率で見ますと、94%というところで、ほぼほぼ人口をカバーできているということです。他の自治体と比べると、そういう特性があると認識しております。</p>
増田会長	<p>大阪市のベッドタウン的な様相ではないということですね。</p> <p>他何か特徴的なところ、あるいはご質問等ございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。またご質問があれば元に戻るとして、少し前に進めさせていただきますでしょうか。</p>
増田会長	<p><b>9-2. 意識調査結果と社会潮流の変化について</b></p> <p>続きまして、9-2について進めさせていただきたいと思います。</p> <p>(事務局 「意識調査結果と社会潮流の変化について」の説明(資料3、資料4、資料5))</p>
増田会長	<p>少し長大な資料説明でしたが、質疑応答の前に一度休憩を入れますか。</p> <p>3時10分から再開ということで、10分ちょっと休憩を入れたいと思います。よろしいでしょうか</p> <p>(休憩)</p>
増田会長	<p>再開したいと思います。</p> <p>5期の評価と評価を受けて6期に向けての頭出しという形で資料をご</p>

	<p>説明いただきましたけれども、何かお気づきの点はございますでしょうか。</p> <p>1時半からやって2時間ぐらいが限度ですけれども、事務局等は最大4時まで確保しておりました。説明いただいていると4時までかかるとは思います、4時には確実に終えたいと思います。特に今日は、こういう長大な資料を初めて皆さん方に見ていただきますので、今日は、まず情報をキャッチいただいて、もう1度最後にご説明いただき、基本方針であったりとか、基本構想の組み立て方というのについては、この会が終わってから事務局に意見をいただいてもよろしいですし、この資料の大事なところについてはもう1度議論する時間を取ってもらってもいいと思いますので、そんな形で前に進めさせていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>そうしましたら、今日はどちらかという第1回目で資料を見ていただくという機会かと思しますので、初めて今日これだけの資料をいただいて、すぐに何か意見を言えというのは非常に大変だと思いますので、お気づきの点があったら自由に手を挙げていただいたらいいのですけれども、そんな形で対応したいと思しますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p><b>9-3. 人口見通しについて</b></p> <p>それでは、資料6「人口見通しについて」ご説明いただけるでしょうか。</p> <p>(事務局 「人口見通しについて」の説明(資料6))</p> <p>それでは続いて、資料7も一括してご説明していただけますか。</p> <p><b>9-4. 基本的視点・方針と基本構想体系(案)について</b></p> <p>(事務局 「基本的視点・方針と基本構想体系(案)について」の説明(資料7))</p> <p>これで全部、今日いただいた準備した1から7までの資料説明を大体終わったかと思ひます</p> <p>少し時間をいただいて、何か1から7まででご質問ございますでしょうか。</p> <p><b>各委員からのコメント</b></p> <p>そうしましたら、申し訳ないですけど一番右端から、感想でもいいの</p>
増田会長	
増田会長	
増田会長	
増田会長	



	<p>で簡潔に一言ずつ、これからどういう姿勢で取り組もうと考えているかでもいいですし、今日の資料の感想でもいいですから、一言ずついただくと思っています。1分いただくと20分位かかりますので、30から40秒くらいでご発言すると、あまり長くならずできると思います。申し訳ないのですが、一番端の三宅委員からよろしいでしょうか。</p>
三宅委員	<p>1点だけお願いしたいなという部分がございます、文章の中にカタカナ横文字が多々見られます。僕もまだまだ新しいものが全て入っているわけではないので、できたらそのような文字を平易な言葉を使ってわかりやすいものを仕上げたいと思います。</p>
小島みゆき委員	<p>町民さんと行政さんの格差がすごく表れていたが、それをどういう風にしていったらいいのか、議員としても勉強しなければいけないと感じました。</p>
富田委員	<p>いろいろ分析されて、現状がよく分かりました。その中で、より良い教育を求めているという町民の意思、その満足度が十分ではないことがよくわかり、そういった中で求められる教育の方向性が新しいものになってきているんですね。その部分で今後施策展開する時に、ソフト面だけではいかなくなる。施設が老朽化して改築していく時に、新しい教育に対応できるような学校を各自治体が作り始めている。忠岡は小さいので、ちょっと学校を整備したら、全部の学校が先進的な教育ができるような町になるので、子育て世代が入ってくると思うんですね。小中一貫校の施設を作ったところは人口が流入してきていますので、そういったことを考えると、英語とか義務教育とか多様な個性を尊重する教育を推進とかあるんですけど、なかなかわかりにくい。周りにわかるのは「すごく綺麗な、いい学校できたよね」みたいな。幼児教育はすごく見ただ目で分かると思うんです。そういう学校教育になればいいという風に思います。</p>
萬野委員	<p>若い人が住みたくなる町というのが基本的なベースだと思うんです。これからコロナ後の社会というのは大きく変わってくると思うんです。特に忠岡町は産業政策をいろいろやるというんですけど、遅れている面があると思います。臨海地区でやっとうちにかやっているということがあるんですけど。若い世代に住んでいただいて、テレワークなりIT関係など、若い人達に集まってもらえたら町も活性化していくと思います。</p>
花野委員	<p>これだけの資料をまとめられて、提出していただいたことに関して、ありがとうございます。防犯の面におきましては、こういう小さな町だからこそ大きな犯罪なく今まで通して来られたと思います。あまり負担にならない中で防犯というものを考えていってはいかがかなと、行政とともに今後考えてまいりたいと思います。</p>

上ノ山委員	<p>忠岡はコロナの患者が1人もなかったのが第一に幸せだと思っておりますけれど、コロナによって、それぞれの年齢層で考え方があると思うのですよね。子どもは子どもながらに学校閉鎖があったり、マスクを買ったり、いろんな声を聴かせてもらっていいものを作っていきたいなと思っております。</p>
勝元委員	<p>資料を見せていただいて、アンケート調査を見ていて、重要度が高くて満足度が低い点は同じ気持ちといたしますか、わかる部分が多かったので、今後の会議の中でいろいろ意見させていただけたらと思います。私は、あまり地元になじみがないというか、ほぼよそ者感覚に近いので、そういった転出された方とか転入された方の感覚目線で意見していけたらと思っています。</p>
二家本委員	<p>資料作っていただいて、ありがとうございます。私も子育て世代ということで、この資料を見せていただいて、これからの10年間に向けて忠岡町でどういうことをやっていけるかというのを、住民アンケートとほぼ同じ意見がたくさんありますので、子育て世代として、今後10年間忠岡町がどういうふうに行政を持っていけるかということをしっかり確認させていただいて、子育て世代として意見を言わせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。</p>
和田委員	<p>私が一番危惧しているのは人口の減少です。少子高齢化が進んでいるが、その中で、本町の計画の中にも少子高齢化に力を入れていくと記載されていますけれども、現実には、20代、30代の方の人口が減っていると。せっかく育った子どもさんが、言い方は悪いですけどもどっかに逃げられているんですね。忠岡町を支える子どもさん、そういった方が20代になって親元を離れて首都圏に行くとか。ですから、子育て世代を応援するのは案外できるんですよね。ただ、それを受ける受け皿が難しい。今後受け皿をどのようにされるか。ICT技術なり、あるいはテレワーク、そういったもので仕事ができるようなものを創生していかなければ、人口の流出、あるいは子どもさんが定着しないだろう、そういう風に考えていますので、よろしくお願いいたします。</p>
毛綿谷委員	<p>日本一小さい町でございますけれども、小さい町故にいろいろとお世話になっていることが沢山ございますので、満足しております。</p>
松阪委員	<p>ここには沢山の各分野の専門の方がおられますので、私は私なりに勉強いたしまして、文化の方でいかに忠岡町に役立っていくか勉強させていただいて、色々な意見を出させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
藤野委員	<p>PTAだけでなく子ども会や少年団などで子どもたちと関わり多く持たせ</p>

<p>小島 ゆかり 委員</p>	<p>ていただいています。個人的には仕事で高齢介護をさせてもらっていますので、本日のお話の内容はとても興味深く、将来の街づくりに対して楽しみもあるのですが、PTA ですので任期がありますので、次の方にしっかり引き継ぎをして託していきたいと思います。</p> <p>今までは都市集中型の生活でしたけれども、コロナ以降は仕事もテレワークとリモート化してきて、学校もリモートで授業を受けたり、そしてら都会にいない必要がないということで、田舎に戻っているということで、忠岡もチャンスだと思います。ただ、心配なのが直近に迫っている災害について、先ほどの資料でも皆さん心配されていましたが、そういうのが重要じゃないかなと感じました。</p>
<p>高見副会長 増田会長</p>	<p>カタカナの文字、注釈入れておいて欲しい。それだけでございます。</p> <p>意見言っていただくのは大事だと思いますので、急に振りまいたけれども、お許しいただければと思います。私自身もコロナ対策、ポストコロナ、アフターコロナといわれている状況を鑑みないといけないなど。一極集中で大都会の脆弱性というのが見えた。それに対して分散をして、職住近接型といいますか職住合一型のような施策をどう展開していけるか。忠岡町の大きな利点みたいな話は、小さな町だと就業地がない、就業機会がないですけれども、幸いなことに忠岡町は就業機会もあると。そういうようなことを考えると、職住合一型みたいな、町の中でどう展開ができていくのかと。小さいことの利点を生かして展開していくことを考えていければ非常に面白いのではないかと。</p> <p>たまたま昨日お話をしていたら、中学3年生だけ遠隔授業をしようとしたが、1000 人生徒数がいらっしやる、自宅で遠隔授業を受けられるのが5、600人で、400人くらいはルーターの準備であるとか、パソコンの準備をしないと行き渡らない、これだけ ICT の社会にまだ進んでいない実態があるという話をしていたのですけど。そんな形で新たな情報社会の中でどうやって生きていけるのかということを踏まえながら、次の展開論が出来れば、小さいことの利点を生かしながら、新たな挑戦ができるのかなと思っていますので、いただいた意見を生かして総合計画としてまとめていきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>増田会長</p>	<p><b>10. その他</b></p> <p>今日予定しておりました内容については、説明はすべていただいたのかと思います。</p> <p>最後のお願いですけれども、次回やるときは少し事前に、1週間前くらいに資料を手元に届くような形で、事前に目を通しておきたいと。初見</p>

<p>事務局</p>	<p>ですべてのことを話せというのはなかなか大変ですから。少なくとも3、4日前、できれば1週間前くらいに資料が皆さんに行くような形で運営いただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それでは、事務局の方にお返ししたいと思ひます。</p> <p>次回審議会の開催について説明させていただきたいと思ひます。</p> <p>回りの審議会については、7月中旬から下旬を予定しておりますので、正式に決まり次第改めて、文書にてご案内させていただきたいと思ひております。</p> <p>現在は国の緊急事態宣言が解除しておりまして、感染対策を講じて審議会を開催しておりますけれども、第2回目以降の審議会の開催日時点において、緊急事態宣言等が出されている場合は、状況により、延期もしくは書面での開催を検討しておりますので、ご了承いただきますよう、よろしくお願ひ致します。</p>
<p>増田会長</p>	<p>日程が設定でき次第、皆さん方にご案内いただいて、できましたら、可能ならば1週間、最低でも2、3日前に手元に資料をいただいてから議論ができるようにしていただくということで、よろしくお願ひいたします。</p> <p>本日は急に無茶ぶりをして申し訳ありませんでした。少し予定よりも長かったかもしれませぬけれども、これで終えたいと思ひます。どうもありがとうございました。</p> <p><b>11. 閉会</b></p>